

# 躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人  
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



## 住吉大神の導きのもと、生長の家立教の使命に邁進しよう!!

### 《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

#### 魂を逞しく生長せしめるには

若し面白くない事が起つて来たならば、それを自分を苦しめる災いだと思わないで、「神の栄えのあらわれんがためなり」と思うことです。

苦難はあなたの魂がそれを跳び超える力を発揮する練習をするために神から与えられた「魂のボディビル」をするための道具だと思えば宜しい。

「今こそ神の栄えのあらわれんがためである。神はその無限の智慧もて此の問題を解決したまう」と暇ある毎に、機会あるごとに祈りの気持ちにて黙念するがよいのである。

神の智慧は到る処に充ち満ちてい給うのであり、この黙念によってあなたの自覚が高まるとき、その到る処に満ちたまう神の智慧に波長が合い、波長が合えば神の智慧があらわれて来ることになるのである。

要するに魂が逞しく生長するためには、どんな現象界の苦難が来ても驚かず平静を失わず神の智慧に振向く練習をすることである。

(新装新版『真理』第9巻 生活篇)

### 人類の聖典『生命の實相』 発刊九十周年！ 今こそ全巻拝読を!!



新編『生命の實相』65巻(予定)中、48巻まで刊行！全巻拝読しましょう!!

生長の家の立教は、谷口雅春先生が『生長の家』誌を発刊された昭和5年3月1日であり、本年は立教92周年にあたります。

昭和4年12月13日、谷口雅春先生は住吉大神から「今起て！」の神啓を受けられ、『生長の家』誌の執筆にとりかかられました。その様子を谷口輝子先生は次のように記されています。

「体のあまり丈夫でなかった夫は、一日の精神労働(編集部註:当時、神戸のヴァキウム)でふらふらになって家庭に帰って来るのであった。けれども家庭に於いてくつろぐ暇もなく、夜半にかけての執筆であった。それは来る日も来る夜もきびしい寒夜の連続であった。全身が凍えてくるので、夫は寝床に腹這いになって徹夜して書きつづけられる日もたびたびであった。」(めざめゆく魂)

こうして創刊号が出来上がり、やがて『生長の家』誌を読むだけで永年の病苦が一挙に消えてしまったというような体験が次々に起こり、誌友の間でいつしか「神誌」と呼ばれるようになりました。

誌友の喜びに谷口輝子先生は、「この書を読んで魂が救われたとか、家庭が調和したとか、病気が治ったとか言って来て下さる時、私たち夫妻の生甲斐は大きく深く、幾日徹夜しても厭われない、人々の喜びのために、人々のお役に立つ仕事のためにと奮い

立つのであった」(前掲書)と述べておられます。発刊から一年ほど経た頃、多くの誌友から「創刊号から読みたい」との声が上がり、合本が作られることになったのですが、谷口雅春先生は、単なる合本ではなく、整理し系統だてて『生命の實相』という本にして、昭和6年の9月中に発行することを発表されました。

谷口雅春先生ご夫妻は、「徹夜して校正をしつづけ」(『生長の家三十年史』)られたのですが、大阪の印刷会社とのやりとりで発行が昭和7年にずれ込むこととなり、その断り書きが『生長の家』誌昭和6年12月号の「生長の家合本聖典『生命の實相』の完成日に就き」と題するご文章に掲載されました。

この中で谷口雅春先生は、「神の創めた仕事は神の定めた時が来ねば、どんなに人間心で急いでも成就せぬ」と、同誌第二輯第八号の巻頭語に「七五三の数の因縁」について神様から書かされた時、こんな無用の閑語を発表していいのだろうかと思いつつお書きになったことを紹介され、「今にして知る『生長の家』は昭和五年三月の月に月満て創刊号を生み、完成の年に『生命の實相』が完成すべきであったのだ。『七は實相世界の完成』と私は第八号に書かしめられていた。『生長の家』の根本聖典たる『生命の實相』は昭和完成の年一月一日を発行日とすべきは決して偶然ではなかったのである」と、その意義をお示し下さいました。

本年は『生命の實相』発刊90周年にあたり、谷口雅春先生への報恩感謝の思いを新たに、『生命の實相』全巻拝読に取り組みましょう。

# 霊牌はまごころ込めて

## ―春のお彼岸には供養もれのないように

前号まで、霊牌の意義や功德、書き方について紹介してまいりましたが、霊牌を書く上で大切なことは、まごころ込めて丁寧に書くことです。来る三月二十日、谷口雅春先生報恩全国練成道場<sup>①</sup>における春季「物故者顕彰慰霊・先祖供養祭」には、供養もれのないよう、多くの霊牌をご奉納ください。

### 『あなたは永遠に生きる』

#### ―天国浄土に生まれる方法―

この表題は光明思想社から発行されている書籍の名前です。著者は谷口雅春先生を学ぶ会の森田邦三名誉全国講師で、本書には霊界と現世に生きる人たちの興味深い関係が数多く紹介されています。（皆さまも是非読んで下さることを期待します）

森田邦三先生はこの本でまず自らの体験を次の様に語っておられます。

「昭和二十年七月二十四日、私の船は朝鮮海峡を通っていた時、米軍機マーチンと交戦し、私は機銃弾が左肩から心臓の背後を通り肋骨と肋骨の間を貫いて抜けていく重症<sup>②</sup>を負いながらも、「九死に一生を得て生還した。父が三百六十五日、仏前で私の武運長久を祈ってお経をあげてくれたからだと思う。全く仏恩と先祖の加護がなかったら、この世に生きていなかっただろう」

その後、森田講師は別府の海軍病院の図書館で『生命の真相』に出会い、生長の家のみ教えひと筋の人生を歩まれることとなります。そして、その豊富な指導体験を通して「人間は死後も生きていることを多くの人たちに伝えたい…そのことが即ち大聖師谷口雅春先生の人類光明化のご悲願をお助けするためでもある」と本書を執筆されたのです。

この中から一つの体験を紹介させて頂きます。

「富山県のある町に、パチンコに熱中し、妻や子に生活費もわたさぬ農家とサラリーマンの兼業農家の三十代の男がいた。しかし農作業はほとんどやらない。周囲の説得は焼け石に水で効果がない」そこで霊媒の須川雪子さんと森田講師が頼まれて供養することになり、聖經『甘露の法雨』を誦読していると、次のように靈魂が語ったのです。

「おれは佐々木文次郎というものだ。この家の先祖で、北海道にわたったものだ。ともかく墓を建ててほしい」

そのことを伝えたいためこの家の長男にとりついて、パチンコに行くように仕向けていると伝えてきたので、「町の役場へ行って調べたところ、佐々木文次郎なる者は現在の人物で、明治二十三年に北海道へ移住していることがわかった。このことは霊媒も私もこの家の嫁もこれを知っているはずがないから、霊は生きて存在している何よりの証拠である」と森田講師は述べておられます。

### 供養もれないように

この体験から学ぶことは、供養もれないようにお祀りすることがいかに大切かということだ。

その意味で春のお彼岸には、直系の方も、傍系の方も、流産児の赤ちゃんも親

### 春季「物故者顕彰慰霊・先祖供養祭」

3月20日（日）午前11時より

（谷口雅春先生報恩全国練成道場に於いて）

族・縁族の方々を丁寧に祀りください。

霊牌はご先祖様への手紙だと考え、みたまの向上を心から願ってお書きください。きつと御霊のよろこびが、無限の幸福となつて返ってくることでしよう。

### 一人出家すれば九族天に生まる<sup>③</sup>の使命に生きよう

この言葉は仏典の聖句で、九族とは、高祖・曾祖・祖父・祖父・父・自己・子・孫・曾孫・玄孫の各九代にわたる親族のことをいいます。

又「出家」とは、真理を悟るとか実践するとかの意味であり、谷口雅春先生は、「一家のうち一人に真に「仏心」があらわれ、神のお光に直結致しますと、

### 霊牌供養のよろこび

先祖は生きている

―供養もれないように

神奈川県 長木一恵（63歳）

霊牌供養大祭が過ぎた頃でした。とても不思議な夢を三日間連続で見ましたが、あまりにも鮮明な内容なので頭の中に残りました。

ひとりの若い兵士が現れて語ったのが、先の戦争で中国大陸で戦死した事、年齢は25歳、住んでいたのは東京で百貨店に勤めていた事等。

着ている軍服、周辺の様子がカラーで映し出されていましたが、名前を言わずに終わりましたので誰かしらと思

一家全体が光明化してしまうのであります」（新装新版『真理』第7巻）とご指導くださいました。

家族の中で自分一人だけでも先祖を大切にし、亡くなった親族の方々を丁寧に供養するようになれば、「一人出家すれば九族天に生まる<sup>④</sup>」の功德によって九族が救われ、家族全体の運命が好転していくにちがいないと。



―全国練成道場における丁寧なみまつり―  
毎月の先祖供養祭で招霊し、8月の「霊牌浄火のみまつり」まで毎日聖經『甘露の法雨』による供養を行います。

いました。そして何度も「自分の親が亡くなり、誰も自分を供養してくれない」と私に告げました。

早速、父に電話し、夢の内容を伝えましたが心当たりがないとの返事でした。墓誌にも該当者はいませんでした。程なく伯母が北海道から訪ねてきて会いたいとの連絡があり、夢の事を話しましたところ、自分たちの「いとこ」だと判明しました。

私の親類だとわかり、誰にも供養されずにとでも淋しい思いをされてきたのではないかと直ぐに霊牌供養をさせていただきました。

ひとりでも漏れがないように霊牌供養をしていきたいと思いました。

# 最高裁確定済 秘話—谷口雅春先生が『生命の真相』の著作権を生長の家社会事業団に与えられた歴史の真実!!



『生命の真相』を護った最高裁判所

昭和63年4月18日、谷口雅春先生のご相続人である

【質問】谷口雅春先生が社会事業団にご寄附されたのは、著作権ですか、著作権収入(印税)ですか

令和3年11月1日付本紙第26号に掲載した「秘話」谷口雅春先生はなぜ『生命の真相』の著作権を生長の家社会事業団に与えられたか」の記事に対し、「谷口雅春先生は、事業団の運営のために著作権収入即ち印税を寄附されたのであって、『生命の真相』の著作権を託されたのではない」と主張する人がいますが、どちらが本当ですか」とのご質問がありましたので、改めて真実をお伝えしお答えします。

【回答】著作権をご寄附されました谷口雅春先生のおこころざし

昭和20年、谷口雅春先生は敗戦によって希望を失った国民に対し、日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。

その施策遂行のため『生命の真相』の著作権を生長の家社会事業団の基本資産と指定して寄附され、翌昭和21年1月8日、主務官庁より設立許可を受けるところとなりました。

更に谷口雅春先生は、昭和22年8月1日、東京都に対し、『生命の真相』

の著作権を財団法人生長の家社会事業団に寄附行為したとの「証明書」を提出されました。

著作権原簿に登録されている

昭和63年4月18日、谷口雅春先生のご相続人である

谷口輝子先生、谷口清超先生、谷口恵美子先生と生長の家社会事業団理事長とにより、文化庁長官へ『生命の真相』の著作権登録申請が行われ、同月27日付で登録されました。国の公文書である原簿に、谷口雅春先生が『生命の真相』の著作権を生長の家社会事業団に譲渡された」と登録されているのです。

こうした登録が行われた背景について、当時の事情を知る事業団前理事長松下昭氏が裁判所に提出した「陳述書」が存在しますので、その核心部分を紹介します。



松下昭氏前理事長  
松下心部分を紹介いたします。

「谷口雅宣氏は、財団法人社会事業団には『生命の真相』の印税が寄附されてきたにすぎず、著作権は谷口家のものだと言ひ張り、当時の吉田武利代表役員(理事長)はじめ関係者が困り果てて、宗教法人「生長の家」顧問の若菜允子(まこと)弁護士と税法の専門家である佐藤義行(よしゆき)弁護士に鑑定を依頼したそうです。両弁護士からの鑑定書では、『印税のみの寄附はあり得ない。著作権は財団法人生長の家社会事業団に設立時より帰属している』との結論であったので、関係者に誤解が生じないように、著作権の登録原因証書として「確認書」が作成され、それに基づき実際に著作権を文化庁に登録したのであります。」

著作権を奪おうとした谷口雅宣氏

ところが、谷口清超先生がご昇天され雅宣氏が実権を握ると、再び「社会事業団は著作権者ではない」と言い出し、新編『生命の真相』等の発行差し止め訴訟を起こしてきたのです。当事業団はこの不当な訴訟に対処し、そのたまたかいは約五年にわたりました

が、平成25年5月27日、最高裁決定により、谷口雅春先生は、生長の家社会事業団に『生命の真相』の完全な著作権を与えられたのであり、著作権収入即ち印税のみを寄附されたのではないとの判決が最終確定しました。

生長の家大神様の神慮

以上の事実が示すとおり、谷口雅春先生は生長の家社会事業団に『生命の真相』等の著作権を託されたことは明

『生命の真相』の真理で寄り添う

フリースクールを開設して

佐賀県 中原由美子(59歳) 私がみ教えに触れたのは、現在95歳になる母のおかげです。その母を導いたのは、戦死した伯父(母の兄)でした。

谷口雅春先生のご講話を拝聴する機会に恵まれた伯父は、「良か話だった! ヨシコ(母)も聞きに行つてこい!」と全身で喜びを語っていたそうで、伯父が残したその言葉が母の人生に大きな光を灯すことになりました。

母は結婚後、『生命の真相』と私(第8回)

夫婦・嫁姑問題、経済的な事で父との結婚を悔やみ、長女(姉)を抱っこして何度も死のうと思ひ、大型ダンブが走る度に飛び込もうとしたそうです。そんなとき目にした「生長の家講演会会場 清川」の看板に伯父の言葉が甦り、迷うことなく

母の背負って参加し救われたのです。母の影響で、父、祖母、姉そして私も真理に触れることになり、父は相愛会の活動を熱心につとめました。現在、私は学習塾と不登校対応のフリースクールを経営しています。愛国



「佐賀経済新聞」に紹介されたフリースクール

身全霊でつとめさせて頂きたいと願う日々です。

らかであり、それは単に財産権の問題としてではなく、教団の今日の惨状を予見された生長の家大神様が、御教えを正しく歪みなく後世に伝えるために谷口雅春先生を通じて行われた神慮深き神計らひであったと言えます。

現在、内閣総理大臣の認定を受けた公益事業として全国練成会、先祖供養神癒・聖經供養等を通じて、数多くの神癒体験が生まれ、救いと歓びの渦が巻き起こっていることを付言します。

心を育み、自己肯定のできる人材育成の場として、使命感をもつての仕事です。教育の柱は中学生の頃から影響を受けた『生命の真相』生活篇です。力強い谷口雅春先生のお言葉にどれだけ勇気を頂いてきたかわかりません。特にフリースクールでは自分を責め、自己肯定感の低い生徒や保護者の方が気になります。その方々が、朗らかに笑って生きよ、「今」を全力を出して戦いとれ、常に心に善念を把持せよ、わが心の王国を支配せよ、取り

越し苦勞するなかれ…など、谷口雅春先生の真理のお言葉に前向きになつていく姿に感動を頂いています。必ず本来の神の子の実相が現れます。

このみ教えのおかげで私自身の人生も救われました。これからは愛国心を育み、生きる喜びに満ちた子ども達、その保護者の方々の人材育成に全身全霊でつとめさせて頂きたいと願う日々です。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

五つの事業を支える奉讀者557名御芳名

生長の家のみ教えを正しく護り  
伝えるために!!

1口33万円の特別献資に  
ご協力ください!! (分割可)

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ① 聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③ 「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④ 「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤ 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から76年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなしとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)  
これまで献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

読者の皆さまからの「喜びの声」

★いつもありがたく読ませて頂いています。大切と思われる部分は赤線を引きファイルして読み返しております。安東巖先生の御文章は暗記するほど読ませて頂いています。

振り返ると、大病、リストラ3回、離婚と大変な人生でしたが、多くの人・物・事に恵まれ感謝の生活をおくる事が出来るのは、間違いなく谷口雅春先生のみ教えのお陰です。先祖供養の大切さもハッキリとわからせて頂きました。生前あまり出来なかった親孝行を、亡くなったあとに出来る幸せを強く感じています。(神奈川県・庄司正昭 63歳)

感想をお寄せください!!

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想をFAX又は右のQRコードでお寄せください。FAX: 042-843-0076



神様の祝福に満ちた幸福人生を招く

◎ 聖使命奉讀会 にご入会ください!!

▲奉讀会費V月額一口、千円

聖使命奉讀会は、谷口雅春先生の正しいみ教えを護り神様の祝福をうけるために誕生しました。

ご入会いただける方は当法人までご連絡ください。尚、入会された方の「誠魂」は谷口雅春先生報恩全国練成道場の宝篋に奉安され、聖經読誦により毎日祝福されます。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う

「神癒・聖經供養」祈願

問題解決、神癒の体験続々と!

コロナに負けず、神の国寮の子どもたち!!

12月末、児童養護施設生長の家神の国寮の恒例行事「クリスマス会」「餅つき会」をリモートにより開催しました。コロナ禍が続いています。児童、職員みな元気に頑張っています。

3月は「巣立ちの会」で卒業生を送り出します。

3月の行事日程

| 日程    | 行事                      | 時間            | 場所        |
|-------|-------------------------|---------------|-----------|
| 1(火)  | 月始め感謝祭<br>聖使命奉讀会感謝奉納祭   | 10時半~         | 道場        |
| 14(月) | 『いのちのゆには』の神示祭           | 11時~          | 社殿        |
| 15(火) | 使命邁進の神示祭                | 11時~          | 社殿        |
| 16(水) | 至上者の自覺の神示祭              | 11時~          | 社殿        |
| 20(日) | 物故者<br>顕彰祭 先祖供養祭        | 11時~          | 道場        |
| 22(火) | 谷口雅春先生謝恩祭<br>『生命の實相』輪読会 | 11時~<br>13時半~ | 社殿<br>図書館 |

4月の行事日程

| 日程    | 行事                      | 時間            | 場所        |
|-------|-------------------------|---------------|-----------|
| 1(金)  | 月始め感謝祭<br>聖使命奉讀会感謝奉納祭   | 10時半~         | 道場        |
| 5(火)  | 萬教歸一の神示祭                | 11時~          | 社殿        |
| 10(日) | 無相円相一切相の神示祭             | 11時~          | 社殿        |
| 17(日) | 物故者<br>顕彰祭 先祖供養祭        | 11時~          | 道場        |
| 22(金) | 谷口雅春先生謝恩祭<br>『生命の實相』輪読会 | 11時~<br>13時半~ | 社殿<br>図書館 |

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同居上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

◆「神癒・聖經供養」毎朝9時~10時30分  
谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。自由にご参加ください。

◆「全国練成道場講師陣」による個人指導  
お悩みや心配事がある方は、気軽にお申し込みください。(遠方や急ぐ方は電話でも)

◆図書資料館定期一般開館日のお知らせ  
3月3日・17日、4月7日・21日  
午前11時~午後3時(原則第1・3木曜日)

◆『生命の實相』輪読会(毎月22日図書資料館)  
3月・4月は新編第13巻(頭注版第7巻)の生活篇です。

＜4月24日谷口雅春先生を学ぶ会全国大会＞

洗面してくる児童は横顔をさらに叩かれ、微笑みて迎える児童には、買物の包みを開いてその美しきお土産を与えて下さるのが運命の女神であるのである。(『生命の實相』頭注版第37巻 幸福篇)